

業務名

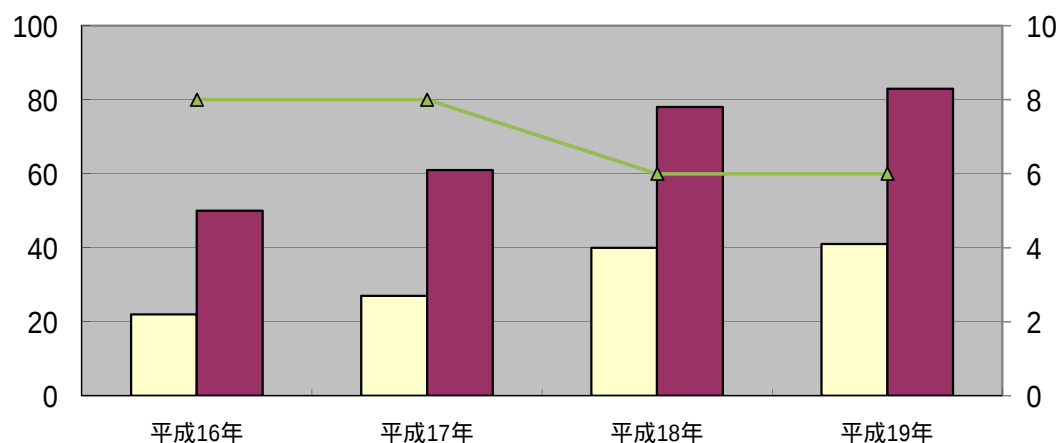
警察施設の整備

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
交番、駐在所の建て替え状況	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	8	8	6	6	戸
交番、駐在所の充実度（バリアフリー化率）	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	22	27	40	41	%
警察署耐震化率	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	50	61	78	83	%
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位

統計数値は、年度末の数値

■ 交番、駐在所の充実度（バリアフリー化率）
 ■ 警察署耐震化率
 ▲ 交番、駐在所の建て替え状況



○業務の主なコスト

No	事業名	平成19年度事業費（千円）	平成20年度事業費（千円）
1	警察官増員対策事業費	29,384	-
2	施設運営費	465,213	450,489
3	警察本部庁舎維持管理費	128,853	126,893
4	警察官駐在所等整備費	40,004	60,203
5	庁舎等施設整備費	64,766	40,381
6	警察署庁舎整備費	802,719	1,895,539
7	犯罪抑止の最前線拠点整備事業費	130,111	132,644
8	災害警備対策費	133,253	36,554
合 計		1,794,303	2,742,703

○課題と平成19年の取組み

- 警察学校の生徒寮（男子・女子寮）棟の建替整備工事が終了した。引き続き、本館・道場を2か年で建替整備する計画を実現させるため、警察庁等関係機関との協議、調整に取り組む。
- 松阪警察署の建替整備工事が2年目り、一部用地の購入、実施設計業務、建築等各種工事業者の選定及び契約業務を終了した。
- 老朽・狭隘化が著しく、防災上の課題を抱える津南警察署及び鳥羽警察署の建替整備工事に着手した。
- 伊賀警察署の耐震補強及び非常用発動発電機の改修工事、熊野警察署の非常用発動発電機の改修工事を実施し、防災活動拠点としての機能充実を図った。
- 交番、駐在所を地域の「生活安全センター」として十分に機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区を重点に、1交番5駐在所の建て替えを行った。

○課題と平成20年の取組み

- 警察学校の生徒寮・厚生棟の建替整備工事を終えたことから、本館・道場棟の建替整備に移行。警察庁、国土交通省等関係機関との協議、調整に取り組む。
- 津南警察署の県久居庁舎を利活用した改修整備工事が2年目の入ることから、各種工事業者の選定及び契約業務のほか、一部改修工事の着手を予定している。
- 鳥羽警察署の建替整備工事が2年目に入ることから、造成設計、造成工事及び庁舎の基本実施設計を予定している。
- 松阪警察署の建替整備工事に着工。平成21年度内の供用開始を予定している。
- 四日市北警察署の非常用発動発電機の改修工事を実施し、防災活動拠点としての機能充実を計画している。
- 交番、駐在所を地域の「生活安全センター」として十分に機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区を重点に、1交番5駐在所の建て替えを計画している。